

令和7年度（2025年度）島根県立大学
地域政策学部 地域政策学科
地域経済経営コース

学校推薦型選抜（一般推薦）

総合問題

【解答時間 90分】

以下の1から8をよく読んで指示に従うようにしてください。指示に従わない場合は、不正行為と見なしますので、注意してください。

1. 解答開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないでください。許可なく問題冊子を開いた場合は、不正行為と見なします。
2. 解答時間は90分です。
3. 試験問題は、1ページから10ページです。解答開始の合図があった後、問題冊子を確認し、印刷不鮮明な箇所等があった場合は、直ちに申し出てください。
4. 解答用紙は4枚あり、問題冊子とは別になっています。解答は指定された解答用紙の解答欄に横書きで記入してください。
5. 受験番号、氏名は4枚の解答用紙の所定欄すべてに記入してください。
6. 問題冊子の余白を下書きに利用しても構いません。
7. 試験時間中の退出はできません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

第1問 ものづくり人材の雇用と就業動向および製造業におけるイノベーションに関する以下の問い（問1～2）に答えなさい。

問1 経済産業省・厚生労働省・文部科学省編「令和5年度ものづくり基盤技術の振興施策（2024年版ものづくり白書）」に掲載された、製造業と非製造業の就業者数の推移を示した図1、製造業と非製造業の高齢就業者（65歳以上）数および割合の推移を示した図2、製造業の男女別就業者数および女性割合の推移を示した図3、それぞれを参照し、後の（1）～（4）の問いに答えなさい。ただし、図1において、棒グラフの最上部に書かれている数値は、製造業の就業者数と非製造業の就業者数を合わせた全産業の就業者数を表している。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

（注）2011年は、東日本大震災の影響により、補完推計値を用いた。分類不能の産業は非製造業に含む。

（資料）総務省「労働力調査」（2024年3月）

（出所）経済産業省・厚生労働省・文部科学省編「令和5年度ものづくり基盤技術の振興施策（2024年版ものづくり白書）」

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(注) 2011 年は、東日本大震災の影響により、全国集計結果が存在しない。分類不能の産業は非製造業を含む。

(資料) 総務省「労働力調査」(2024 年 3 月)

(出所) 経済産業省・厚生労働省・文部科学省編「令和 5 年度ものづくり基盤技術の振興施策 (2024 年版ものづくり白書)」

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(注) 2011 年は、東日本大震災の影響により、補完推計値を用いた。

(資料) 総務省「労働力調査」(2024 年 3 月)

(出所) 経済産業省・厚生労働省・文部科学省編「令和 5 年度ものづくり基盤技術の振興施策 (2024 年版ものづくり白書)」

- (1) 図1において、2002年に対する2010年、および2012年に対する2023年の製造業の就業者の増減率をそれぞれ計算しなさい。なお、解答にあたっては、%単位で記述し、小数第2位を四捨五入したうえで小数第1位までの値で答えること。
- (2) 図1における全産業に占める製造業の就業者の割合について、2002年から2023年の推移の特徴を60字以内で述べなさい（句読点やカッコも字数に含める。2桁以上のアラビア数字を使用する場合は、1マスに2文字を入れる）。
- (3) 図2の読み取りとして正しい場合は「○」、誤りを含む場合は「×」を記入しなさい（なお、ここで書かれている%ポイントとは、%で表された数字同士の差のことを指す）。
- ① 製造業における65歳以上就業者割合は、2002年以降、リーマンショック等により一時的に低下した時期を除いて、2018年頃まで上昇傾向で推移しているが、以降はほぼ横ばいとなっており、その後2023年にかけて低下傾向にある。
 - ② 製造業において、65歳以上就業者の割合は、必ず65歳以上就業者数の変化と連動して増減している。
 - ③ 2015年と比べると、非製造業の65歳以上就業者の割合は2016年に0.4%ポイント上昇しており、製造業の65歳以上就業者の割合は2016年に0.7%ポイント上昇している。このことから、2015年に対する2016年の65歳以上就業者数の増加人数は、非製造業と比べて製造業の方が多いいえる。
 - ④ 製造業の65歳以上就業者の割合と非製造業の65歳以上就業者の割合の差が最も縮まった年において、その差は2.8%ポイントとなっている。
- (4) 図3において、全産業の女性就業者割合が2002年から2023年にかけて一貫して上昇し続けているのに対し、製造業の女性就業者割合は2002年の33.5%から緩やかに下降した後、2009年頃から30.0%前後の横ばいで推移している。製造業の女性就業者割合がどのように推移しているのは、製造業の女性就業者数がどのように推移しているからか。製造業の男性就業者数の推移と比較しながら60字以上80字以内で述べなさい（句読点やカッコも字数に含める。2桁以上のアラビア数字を使用する場合は、1マスに2文字を入れる）。

問2 経済産業省・厚生労働省・文部科学省編「令和5年度ものづくり基盤技術の振興施策（2024年版ものづくり白書）」に掲載された、製造業におけるイノベーションに関するコラムを読み、後の（1）～（4）の問いに答えなさい。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

(設問のため文章を一部変更した)

- (注1) スタートアップ 先進的なアイデア・技術を強みに、新しいビジネスを創り出し、起業後に短期間で急成長を遂げる企業のこと。
- (注2) オープンイノベーション 企業が自らのビジネスにおいて外部のアイデアや技術をより多く活用し、また、自らの未利用のアイデアを他社に活用させることで、技術革新を生み出すこと。
- (注3) プラットフォーム 企業や消費者といった他のプレイヤーが提供する製品・サービス・情報を結びつけ、ネットワークを形成する基盤のこと。

- (1) 課題文中の下線部(ア)～(エ)を漢字で丁寧に記しなさい。
- (2) 課題文のそれぞれの段落に見出しをつけるとき、段落(甲)～(丁)の見出しとして適切なものを①～④から一つずつ選び、番号で答えなさい。
- ①「共通言語がない産学連携の壁を乗り越え、協業による相乗効果を高める」
 - ②「産学連携とオープンイノベーションの成功要因は、経営幹部の強い意思と現場の忍耐力」
 - ③「“ものづくり総合支援企業”から“包括的事業化支援企業”への変革を目指す」
 - ④「ものづくりの一括・一貫体制を確立し、幅広い分野で新製品開発をサポート」
- (3) 段落(乙)の内容を110字以上130字以内(句読点やカッコも字数に含める)で要約しなさい。
- (4) 下線部(A)に“包括的事業化支援企業”とあるが、これはどのような企業のことを指すか。“ものづくり総合支援企業”と比較しながら、140字以上160字以内(句読点やカッコも字数に含める)で述べなさい。

第2問 次の資料は、2024年6月25日付の『日本経済新聞』に掲載された新聞記事の本文である。この記事を読んで、以下の問い（問1～8）に答えなさい。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

著作権保護のため、問題文は公開できません。

問1 課題文中の下線部（ア）～（オ）に相当する漢字と同じ漢字を含むものを、次の各群の①～⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

（ア）コウサイ発行

- ① 5月5日はサイジツである
- ② 野球のサイノウがある
- ③ 企業がフサイを抱える
- ④ コウガイに住む
- ⑤ 言い訳のコウジツを探す

（イ）政府カイニューにより

- ① 虫が伝染病をバイカイする
- ② 街の歴史をカイコする
- ③ 新しいカイシャを起こす
- ④ 自分の考えは他人の考えとカイリしている
- ⑤ 子供のニューシが抜けた

（ウ）為替レートでカンサンした

- ① 近くのスーパーがお客様カンゲンセールを開いた
- ② 昨日観た映画はカンドウした
- ③ 部屋のカンキをする
- ④ 12月になりカンキが到来する
- ⑤ 大舞台でカンキの逆転勝ちをおさめる

（エ）日本の在米資産をトウケツし

- ① 動物が檻からトウソウした
- ② 相手が強いほどトウソウ本能が掻き立てられる
- ③ トウの上に登る
- ④ アラスカにみられる永久トウド
- ⑤ ケツインを補充する

（オ）日本は経済フッコウを完了し

- ① 野球で3回の裏のコウゲキに入る
- ② 当時のまま残る鉱山の地下コウドウ
- ③ 大学で公開コウザが開かれた
- ④ おコウが焚かれている
- ⑤ コウフンして眠りにつくことができなかった

- 問2** 課題文中の下線部 (A) ~ (E) の漢字の読み方をカタカナで丁寧に記しなさい。
- 問3** 課題文中の下線部 (i) ~ (v) の対義語を漢字で丁寧に記しなさい。
- 問4** 為替が1ドル100円の時に200万円分のドルを買い、そのとき買ったドルを翌年に為替が1ドル160円となってから全額円に替えた場合、円はいくらになっているかを求めなさい。
- 問5** 課題文中の空欄(1)には国民総生産の英語の略語が入る。その略語を記述しなさい。
- 問6** 課題文中の下線部(2)を読み、円安を説明した上で、円安時には日本の輸入産業と輸出産業に如何なる影響があるかを、理由とともに230字以上250字以内で述べなさい。
- 問7** 課題文中の空欄(3)に入る言葉を①~⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。
- ① 他方
 - ② また
 - ③ さらに
 - ④ すなわち
 - ⑤ 従って
- 問8** 課題文のタイトルとして最も適切なものを次の①~⑤のうちから一つ選び、番号で答えなさい。
- ① 消費者、不利益を避けられず
 - ② 過去の「成功体験」見直す時
 - ③ 米国利下げ観測で歴史的円安の終わり
 - ④ 歴史的な円安実質賃金の低迷
 - ⑤ 企業規模大きいほど恩恵大